

事業シート

事業名	人間万燈まつり事業	事業開始年度	1992年度
上位施策事業名	市民文化の振興	担当局・部名	市民生活部
根拠法令等		担当課名	地域振興課
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	須田 英樹

実施の背景
6町村が合併してできた入間市は、昭和41年の市政施行当初、まとまりのない市だと言われていた。その課題を解決するため、1年に1度、入間市民が一堂に会す場として、入間市民フェスティバルと商工まつりを拡大・融合させて「人間万燈まつり」となった。

目的
(何のために)
市民と行政が協働でつくりあげるイベントであり、ふるさとを愛する心を育むこと、自治意識の高揚、コミュニティー活動の推進、地域文化の振興、地域経済の活性化、特色のあるまちづくり、観光誘客を目的としている。

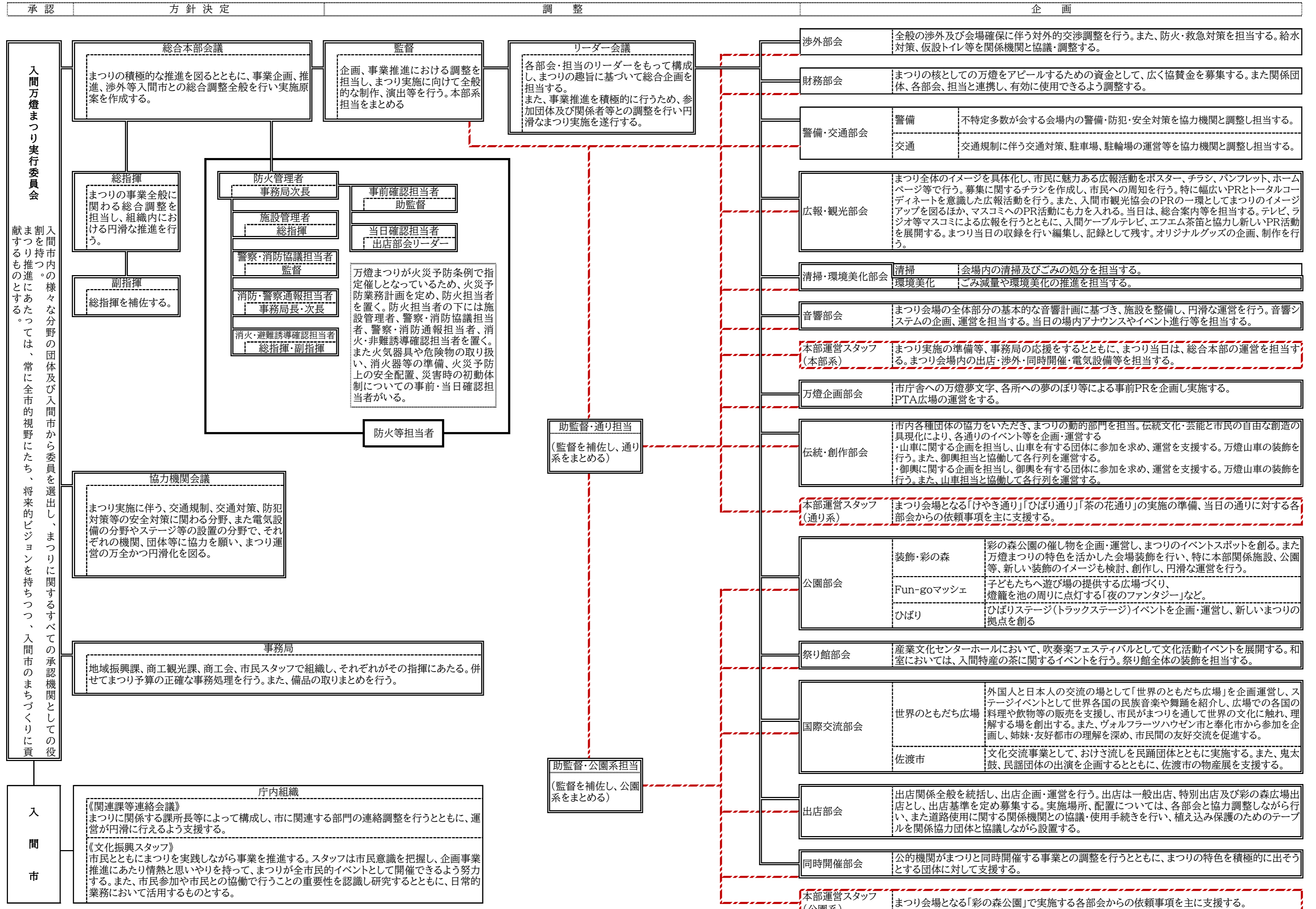
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全入間市民	対象者数 (全住民に対する割合) 145,268 人 (100 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)	
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)	
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業内容 (手段、手法など)	<p>事業内容</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度、2021年度は中止、2022年度は規模を縮小しての開催であったため2019年度実績を記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 毎年10月第4土曜日と翌日の日曜日に開催 ・会場 けやき通り (トヨタカローラ前～東町交差点) ひばり通り (野ロガソリン前～自衛隊入間基地正門前) 茶の花通り (自衛隊入間基地正門前～豊岡小学校北側) 彩の森入間公園、産業文化センター、市民会館他 ・運営 実行委員 (約60人)、市職員スタッフ (334人)、市民スタッフ (178人) ・部会 13部会 (渉外、財務、警備・交通、清掃・環境美化、広報・観光、音響、出店、伝統・創作、公園、祭り館、国際交流、万燈企画、同時開催) 市職員スタッフ及び市民スタッフにより各部会を組織し、各々企画運営を行う。 		
関連事業 (同一目的事業等)			

		2023 年度 (予算)		2022 年度 (決算)		2021 年度 (決算)		2020 年度 (決算)					
事業費 コスト	事業費合計	13,982	千円	9,098	千円	0	千円	0	千円				
	事業費内訳 (2022年度分)	<ul style="list-style-type: none"> ・人間万燈まつり実行委員会への補助金 7,000千円(うち、地方創生臨時交付金2,000千円) <内訳> 総務費 (広報等) 532千円、運営費 (警備・清掃等) 2,139千円、会場制作費 (備品レンタル、電気業務委託等) 5,696千円、企画製作費 (各種イベント運営等) 176千円、事務費 (消耗品、郵送等) 450千円、特別対策費 (校庭整備) 143千円 ※上記市補助金の他、協力団体補助金、協賛金、出店料、駐車場整備協力金等を財源とする。 ・文化振興スタッフ (担当・関連課以外の職員) 83人に対する時間外勤務手当 2,098千円 ※当日スタッフ (商工観光課: 観光費) 13人に対する時間外勤務手当 224千円 											
	人件費	1.1	人	8,310	千円	1	人	7,520	千円	0	人	0	千円
	総事業費	22,292	千円	16,618	千円	0	千円	0	千円				
財源 内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円				
	国県支出金の内容												
	地方債		千円		千円		千円		千円				
	その他特財		千円		千円		千円		千円				
	その他特財の内容												
一般財源	22,292	千円	16,618	千円	0	千円	0	千円					
財源合計	22,292	千円	16,618	千円	0	千円	0	千円					

事業シート

事業名		人間万燈まつり事業			事業開始年度	1992年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度
		協賛金額		円	3,225,000 /650,000	中止	中止
		チラシ配布枚数		枚	56500 /55000	中止	中止
		運営スタッフ		人	225/200	中止	中止
	来場者数		人	30,000/ 30,000	中止	中止	
単位当たりコスト	総事業費	/	来場者数	円	554	中止	中止
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとを愛する心を育むこと」「特色のあるまちづくり」の達成度を測る指標として、市民意識調査の「万燈まつりを本市の魅力や個性として感じている市民の割合」を用いる。（最新の市民意識調査結果である2021年の数値を採用する） ・「地域経済の活性化」「観光誘客」の達成度を測る指標として、来場者数を用いる。 ・「自治意識の高揚」「コミュニティー活動の推進」「地域文化の振興」の達成度を測る指標として「参加団体数」を用いる。 					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度
		万燈まつりを本市の魅力や個性として感じている市民の割合		%	59.2/69.1	59.2/69.1	59.2/69.1
		来場者数		人	30,000/ 30,000	中止	中止
参加団体数		団体	76/80	中止	中止		
自己評価		廃止・凍結	国・県・広域	要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現行通り・拡充		
評価の内容		例年、市民スタッフと市職員スタッフが協力し合い、1年に1度入間市民が一堂に会す場を作り上げることができているが、2022年度については新型コロナウイルスの影響により縮小開催だったこともあり、来場者数や参加団体数が減少した。しかしながら、まつり開催後に実行委員に対して実施したアンケート結果によれば、2022年度の開催内容について76%の委員が「良かった」又は「妥当」との回答であったとともに、「感染対策をしながら実行できたことは大変価値がある」「実施することに意義がある」などの意見もあり、人間万燈まつりに対する市民の期待が大きいことが伺えた。					
課題	2022年度	新型コロナウイルスの影響により、規模や内容を縮小・制限しての開催であったため、例年の万燈まつりと比較すると来場者数、参加団体数ともに少なく、賑わいに欠ける部分があった。					
	2023年度	4年ぶりに会場規模を戻し、飲食・飲酒や御輿、各種イベントを復活させるが、3年間のブランクにより、職員、市民ともにノウハウの継承が途切れている部分がある。					
今後の予定		職員スタッフは、まつりの様々な企画・催しを市民と一緒にを行うことにより、コミュニケーション能力の向上や協働意識を醸成している。市民との協働によるまちづくりのために、今後も職員の万燈まつりへの参加をお願いしていく。					
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		<p>※新型コロナウイルスが流行する前の2019年度の数値</p> <p>坂戸市（坂戸よさこい） 来場者数：18万人 総事業費：約2,000万円 市補助金：900万円 開催：1日間 職員スタッフ：130人（時間外勤務）</p> <p>日高市（日高市民まつり） 来場者数：5.5万人 総事業費：約2,150万円 市補助金：700万円 開催：2日間 職員スタッフ：120人（時間外勤務）</p> <p>朝霞市（彩夏祭） 来場者数：71万人 総事業費：約6,780万円 市補助金：2,290万円 開催：3日間 職員スタッフ：270人（時間外勤務）</p> <p>飯能市（飯能まつり） 来場者数：15.2万人 総事業費：約1,200万円 市補助金：650万円 開催：2日間 職員スタッフ：100名（時間外勤務、R4まではボランティア）</p> <p>※上記のまつりの職員スタッフ数は当日スタッフ数で、準備や調整等は事務局（担当課）で行っている。</p> <p>入間市（人間万燈まつり） 来場者数：21.8万人 総事業費：約2,000万円 市補助金：900万円 開催：2日間 職員スタッフ：288人（うち当日スタッフ126人）（時間外勤務）</p>					
特記事項							

令和5年度〔第43回〕入間万燈まつり 組織概要図



事業シート

事業名	ごみ啓発物発行事業		事業開始年度	2022				
上位施策事業名			担当局・部名	環境経済部				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 入間市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		担当課名	総合クリーンセンター				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	石井 治彦				
実施の背景	ごみに関する啓発を広く行い、ごみの適正な分別方法を周知することは、良好な生活環境の維持するうえで必要なことである。また、令和5年4月からごみの分別が変わり、プラスチックごみの一括回収が始まることに伴い、自治会の加入の有無等に関係なく、全ての市民に改めてごみの分別方法の周知を徹底する必要がある。							
目的 (何のために)	ごみの適正な分別を促進し、令和5年4月から始まるプラスチックごみ一括回収を円滑に実施できるように、すべての市民へ周知を図る。							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全ての市民			対象者数 (全住民に対する割合) 全市民 人 (100 %)			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: シルバー人材センター)						
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)						
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()						
事業内容 (手段、手法など)	<p style="text-align: center;">事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入間市の全戸にごみ啓発印刷物「ごみ分け方・出し方」リーフレットをポスティングで配付する。 事業指標 全世帯67,000部へ配布 事業費 ごみの分け方・出し方印刷製本費: 508,200円 ごみ啓発物配付業務委託費: 2,579,500円 ・「ごみチャンネル」については、概ね5年毎に改訂版の発行を計画していますが、ごみの分別方法や収集方法に大きな変更がある場合は、その都度発行し「ごみの分け方・出し方」リーフレットと同時に全戸配付する予定です。 							
関連事業 (同一目的事業等)								
コスト	2024 年度 (予算)		2023 年度 (決算)		2022 年度 (決算)		2021 年度 (決算)	
	事業費合計	3,089 千円	4,759 千円	0 千円	0 千円			
	事業費内訳 (2022年度分)	ごみチャンネル改訂版印刷製本費: 2,002,000円 ごみの分け方・出し方印刷製本費: 446,250円 ごみ啓発物配付業務委託費: 2,309,632円						
	人件費	担当正職員	0.2 人 1,580 千円	0.2 人 1,580 千円	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	人 1,580 千円	人 1,580 千円	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円
	総事業費	4,669 千円	6,339 千円	0 千円	0 千円			
財源内訳	国県支出金							
	国県支出金の内容							
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容							
	一般財源	3,089 千円	4,759 千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	3,089 千円	4,759 千円	千円	千円	千円	千円		

2024 年度

事業シート

事業名		ごみ啓発物発行事業			事業開始年度	2022	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度
		配付部数		戸	70,000/70,000	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	68.0円	/	1世帯当たり			
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	市民に対しごみの収集日や分別方法を漏れなく継続的に周知することにより、適正なごみの分別が図られ、計画目標年度にごみ排出量と資源化率を達成するための成果目標とした。 ※計画目標年度 令和17年度（入間市一般廃棄物処理基本計画より） ・ごみ総排出量 36,266 t ・資源化率 27.4%					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度
		ごみ排出量		t	41,885.84	43,237.32	44,321.35
		資源化率		%	22.55	22.85	23.25
				/	/	/	
自己評価		<input type="checkbox"/> 廃止・凍結	<input type="checkbox"/> 国・県・広域	<input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現行通り・拡充		
評価の内容		市民に対し、誰一人取り残さず必要な情報を届けるため、令和4年度からごみ啓発印刷物を委託によるポスティングで全戸配付している。ごみの適正な処理には、ごみの分別はすべての市民に周知すべき事項のため、継続して全戸配付を実施していくべきと考える。					
課題	2022年度	全戸配布をしたが、転入等により必要とされる方が想定より多かったので、印刷物が足りなくなり増刷する必要が出た。					
	2023年度	毎年10月に改訂される最低賃金の上昇率					
今後の予定		<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年3月に「ごみの分け方・出し方」リーフレットを全戸配付する予定。 ・「ごみチャンネル」については、概ね5年毎に改訂版の発行を計画していますが、ごみの分別方法や収集方法に大きな変更がある場合は、その都度発行し「ごみの分け方・出し方」リーフレットと同時に配布する予定です。 					
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市 全戸配布について業務委託している。（自治会加入率57.2%） ・狭山市 自治会を經由し配付。（自治会加入率64.6%） ・飯能市 自治会を經由し配付。（自治会加入率69.6%） ・日高市 自治会を經由し配付。（自治会加入率75.7%） ・入間市自治会加入率59.4% ※自治会加入率については、令和4年4月1日現在。					
特記事項		「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」では、市町村はプラスチック使用製品廃棄物の分別収集基準を策定し、その基準にしたがって適正に分別して排出されるよう市民に周知しなければならないとされています。					

ごみの分け方出し方リーフレット等配付に係る聞き取り

	世帯数 R4.10現在 (自治会加入 率)	全戸配付の 有無	頻度	配付方法	印刷部数	増刷の 有無	アプリ導入の 有無	備考
川越市	165,788 (70.70%)	実施	毎年	広報誌と同時配付 (ポスティング)	178,000	無	川越市ごみ分別 アプリ	印刷数が少し足りない
所沢市	167,239 (57.20%)	実施	毎年	ポスティングにて 配付(広報誌とは 別)	195,000	無	所沢市ごみ分別 アプリ-わけど コッ!-	48項(カラー)の冊子
飯能市	36,027 (69.60%)	実施	毎年	広報誌と同時配付 (自治会加入世帯 のみ)	44,000	無	飯能市ご当地ア プリ	
狭山市	71,358 (64.60%)	実施	毎年	広報誌と同時配付 (自治会加入世帯 のみ)	89,000	無	狭山市ごみ分別 アプリ	・折込ではなく広報紙の 一部として印刷 ・印刷数配付59,000、そ の他30,000
東松山市	42,203 (64.70%)	実施	毎年	広報誌と同時配付 (自治会加入世帯 のみ)	47,000	無	無	
ふじみ野市	52,326 (45.00%)	実施	毎年	広報誌と同時配付 (ポスティング)	62,000	年により	ふじみ野市ごみ 分別アプリ	印刷単価 25円
坂戸市	44,959 (65.40%)	実施	毎年	広報誌と同時配付 (自治会加入世帯 のみ)	66,500	無	坂戸ごみ分別ア プリ	
鶴ヶ島市	33,012 (51.99%)	実施	毎年	広報誌と同時配付 (ポスティング)	40,600	無	つるポケ	埼玉西部環境保全組合 (鶴ヶ島市、毛呂山町、 鳩山町、越生町)で 72,800部印刷
日高市	24,637 (75.70%)	実施	毎年	広報誌と同時配付 (自治会加入世帯 のみ)	25,000	無 (今年度は 増刷可能 性あり)	ひだか知っ得情 報アプリ(新規 DL停止中)、 LINE	印刷数が足りない
新座市	77,994 (55.31%)	大幅に改訂を 実施した場合 のみ(直近は R2)	大幅改訂 時のみ	広報誌と同時配付 (ポスティング)	110,000	無	新座市ごみ分別 アプリ(さん あーる)	R2印刷実績
富士見市	54,313 (62.78%)	直近で配付し たのはH29	-	転入届時や公共施 設等で配付	3,000	有	富士見ごみ分別 アプリ	・印刷部数はR4実績 ・30項のパンフレット ・変更はHP、アプリで周 知
志木市	36,040 (52.87%)	大幅改訂を 実施した場合 のみ(直近は R4)	大幅改訂 時のみ	広報誌と同時配付 (自治会加入世帯 のみ)	30,000	無	無	内訳 ・配付用25,000 ・公共施設設置用1,000 ・その他用4,000
朝霞市	69,250 (43.70%)	大幅改訂を 実施した場合 のみ	2~3年に1 度	広報誌と同時配付 (ポスティング)	70,000	無	朝霞市ごみ分別 アプリ	全戸配付を実施しない年 は転入届時や公共施設で の配付のみ
和光市	42,981 (36.17%)	未実施	-	転入届時や公共施 設等で配付	6,000	無	無	
三芳町	16,860 (49.00%)	改訂時のみ	未実施	ポスティングにて 配付	2,000	無	三芳ごみ分別ア プリ	・5年前に事業仕分けで全 戸配付を廃止したが、ごみ 分別に関する問合せが多 いため、R6から全戸配付 の再開を計画中。
東京都 武蔵野市	78,548 (自治会制度無 し)	実施	毎年	ポスティングにて 配付	115,000	年により R5は増刷 予定	LINE	マンションの多い地区は 増刷する傾向が高い。
東京都 青梅市	64,667 (33.49%)	実施	毎年	環境美化委員に配 付を依頼	71,000	年により R4は増刷 を実施	HPチャットボツ ト LINE	従来は、環境美化委員(約 600名)に配付を依頼して いたため、配付経費は掛 かっているが、委員が高 齢化しているため、今後は 配付を委託にて実施予定 とのこと。
埼玉県 資源循環推進課	ごみの分け方パンフレット等の配付状況等について県として調査を実施したことは無いため、各市町村の状況は不明。 紙ベースの配付を行わず、HP等の周知のみで完結するとは考えにくい。							

事業シート

事業名	障害者手当給付事業		事業開始年度	1979					
上位施策事業名	障害者支援の推進 生活支援の推進		担当局・部名	福祉部					
根拠法令等	入間市重度心身障害者福祉手当支給条例・施行規則		担当課名	障害者支援課					
事務区分	■自治事務 □法定受託事務		作成責任者	小笠原 昌平					
実施の背景	障害者の生活の向上と福祉の増進を図るため、昭和54年4月1日から入間市重度心身障害者福祉手当支給条例及び入間市重度心身障害者福祉手当支給条例施行規則を施行。県は「埼玉県障害者生活支援事業補助金交付要綱」を平成18年7月6日から施行し、平成18年4月1日から適用。県は当該手当を支給する市町村に対し、月額5,000円を限度とする手当の1/2を補助。								
目的 (何のために)	障害者に重度心身障害者福祉手当を支給することにより、障害者の生活の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。								
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	身体障害者手帳1級・2級、療育手帳OA・A・B、精神保健福祉手帳1級の交付を受けている方及び超重症心身障害児（ただし、1. 受給者本人に住民税の課税がある場合、2. 受給者本人が施設に入所している場合、3. 平成22年4月1日以降に65歳以上で新たに手帳を取得した場合は対象となりません。）			対象者数（全住民に対する割合）	1,621 人（1.12 %）			
	実施方法	■直接実施							
		□業務委託 又は □指定管理（委託先又は指定管理者：）							
		□補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：）							
	□貸付（貸付先：） □その他（）								
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 重度の障害者手帳の取得または重度の障害者手帳所持者の転入等で入間市重度心身障害者福祉手当の支給対象となった方に、申請書の提出を求め、受給資格の認定を行う。受給資格を認定したときは、当該申請者に通知書により、その結果を通知する。手当の支給期間は、申請の日の属する月の翌月（これらの日が月の初日であるときは、その日の属する月）から受給資格を失った月まで。手当は、受給者の前年の所得（1月から7月までの月分の手当については、前々年の所得とする。）に係る地方税法の規定による市町村民税が課された年度の初日が属する年の8月分から翌年7月分までは、支給しない。手当の額は、障害者1人につき月額6,000円。ただし、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過措置による福祉手当を受けている方は月額1,750円。								
関連事業 (同一目的事業等)	○特別障害者手当（障害者支援課・月額27,980円・20歳以上の在宅で日常生活において常時の介護を必要とする一定の障害程度の方が対象。国の負担割合3/4。市の負担割合1/4。） ○障害児福祉手当（こども支援課・月額15,220円・20歳未満の在宅で身体障害者手帳1級および2級の一部、または療育手帳のマルA相当、精神障害および血液疾患等で前記と同程度の障害を有する方が対象。国の負担割合3/4。市の負担割合1/4。）								
コスト	2024 年度（予算）		2023 年度（決算）		2022 年度（決算）		2021 年度（決算）		
	事業費合計	104,565 千円	103,469 千円	101,952 千円	101,449 千円				
	事業費内訳 (2022年度分)	・扶助費 103,468,750円 実受給者 1,621人 受給者 1,776人（内支給停止 305人）R5.3.31時点 6,000円×延16,763人=100,578,000円 1,750円×延 1,596人= 2,793,000円（特別障害者手当、障害児福祉手当等の受給者） 4,250円×延 23人= 97,750円（年度途中に特別障害者手当、障害児福祉手当等が不支給になった受給者への差額支給）							
	担当正職員	1 人	790 千円	1 人	790 千円	1 人	790 千円	1 人	790 千円
	臨時職員等								
人件費合計	1 人	790 千円	1 人	790 千円	1 人	790 千円	1 人	790 千円	
総事業費	105,355 千円	104,259 千円	102,742 千円	102,239 千円					
財源 内訳	国県支出金	34,500 千円	34,055 千円	33,815 千円	34,140 千円				
	国県支出金の内容		在宅重度心身障害者福祉手当費補助金						
	地方債								
	その他特財								
	その他特財の内容								
一般財源	70,855 千円	70,204 千円	68,927 千円	68,099 千円					
財源合計	105,355 千円	104,259 千円	102,742 千円	102,239 千円					

2024 年度

事業シート

事業名		障害者手当給付事業			事業開始年度	1979		
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値）			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度
		入間市重度心身障害者福祉手当 実受給者数			人	1,621	1,625	1,617
		入間市重度心身障害者福祉手当 年度末の受給者数（内支給停止）			人	1,776(305)	1,807(313)	1,820(322)
	単当たりコスト	/						
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	過去3年間で、毎年1,600人を超える方に手当を支給した。障害者本人に市町村民税（住民税）の課税がある場合は支給停止になるが、非課税の割合は、受給者全体の83%であった（R5.3.31現在）。障害者の生活の向上と福祉の増進を図るための手当支給といえる。						
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値）			単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度
		入間市重度心身障害者福祉手当 6,000円の延受給者数			人	16,763	16,519	16,444
		入間市重度心身障害者福祉手当 1,750円の延受給者数			人	1,596	1,612	1,591
入間市重度心身障害者福祉手当 4,250円の延受給者数			人	23	4	0		
自己評価		<input type="checkbox"/> 廃止・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行通り・拡充						
評価の内容		毎年1,600人を超える重度心身障害者に対して、その障害のために必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として、手当を支給しているものである。受給者本人は市町村民税非課税であることが、支給要件になっていることから、当該手当が廃止または減少することは、障害者本人及びその家族の経済的負担になるため、現行の制度を維持し、事業を継続していく必要がある。						
課題	2022年度	本市では月額6,000円を支給しているが、県の補助は月額5,000円の1/2が限度となっている。厳しい財政状況であるが、事業費は増加傾向にある。						
	2023年度	本市では月額6,000円を支給しているが、県の補助は月額5,000円の1/2が限度となっている。厳しい財政状況であるが、事業費は増加傾向にある。						
今後の予定		事業の継続が基本だが、社会情勢や近隣市等の状況も踏まえ、適性な手当の支給について検討していく。						
比較参考値 （他自治体での類似 事業の例など）		別紙参照						
特記事項								

近隣市の重度心身障害者福祉手当 (※) の支給基準一覧

令和5年4月1日現在

県の補助基準	<p>対 象 住民登録地が埼玉県内である次の者 ○身体障害者手帳 1・2級 ○療育手帳 マルA・A ○精神保健福祉手帳 1級 他</p> <p>補助額 市町村において支給する手当の額（月額5,000円を限度とする）の1/2</p> <p>支給制限 次に該当する者には支給しない。 ○施設入所者（例外あり） ○障害児福祉手当等の受給者（例外あり） ○前年の所得により、住民税を課税されている者 ○65歳以上の者（例外あり）</p>	県の補助基準に上乘せしている支給対象や支給額等
入間市の支給基準	<p>対 象 市内に住所を有する次の者 ○身体障害者手帳 1・2級 ○療育手帳 マルA・A・B ○精神保健福祉手帳 1級 他</p> <p>支給額 特別障害者手当、障害児福祉手当、経過措置による福祉手当を受けている方は月額1,750円 上記以外の方は月額6,000円</p> <p>支給制限 県と同じ</p>	<p>対 象 ○療育手帳 B （月額6,000円） ○特別障害者手当、障害児福祉手当、経過措置による福祉手当を受けている方 （月額1,750円）</p> <p>支給額 月額6,000円 （1,000円の上乗せ）</p>
狭山市の支給基準	<p>対 象 市内に住所を有する次の者 ○身体障害者手帳 1・2級 ○身体障害者手帳 3級（20歳未満） ○療育手帳 マルA・A ○療育手帳 B（20歳未満） ○療育手帳 C（20歳以上） ○精神保健福祉手帳 1級 他</p> <p>支給額 療育手帳 C（20歳以上）の方は月額3,000円 上記以外の方は月額7,000円</p> <p>支給制限 県と同じ</p>	<p>対 象 ○身体障害者手帳 3級（20歳未満） （月額7,000円） ○療育手帳 B（20歳未満） （月額7,000円） ○療育手帳 C（20歳以上） （月額3,000円）</p> <p>支給額 月額7,000円 （2,000円の上乗せ）</p>
所沢市の支給基準	<p>対 象 市内に住所を有する次の者 ○身体障害者手帳 1・2級 ○療育手帳 マルA・A・B ○精神保健福祉手帳 1・2級 他</p> <p>支給額 療育手帳 B、精神保健福祉手帳 2級、超重症心身障害児 (※) の方は月額5,000円 上記以外の方は月額9,000円</p> <p>支給制限 県と同じ ※重度の肢体不自由および知的障害があり、人工呼吸管理などの医療的ケアが必要な方</p>	<p>対 象 ○療育手帳 B （月額5,000円） ○精神保健福祉手帳 2級 （月額5,000円）</p> <p>支給額 月額9,000円 （4,000円の上乗せ）</p>
飯能市の支給基準	<p>対 象 市内に住所を有する次の者 ○身体障害者手帳 1・2級 ○療育手帳 マルA・A・B ○精神保健福祉手帳 1級 他</p> <p>支給額 月額5,000円</p> <p>支給制限 県と同じ</p>	<p>対 象 ○療育手帳 B （月額5,000円）</p>
日高市の支給基準	<p>対 象 市内に住所を有する次の者 ○身体障害者手帳 1・2級 ○療育手帳 マルA・A ○精神保健福祉手帳 1級 他</p> <p>支給額 月額5,000円</p> <p>支給制限 県と同じ</p>	なし

※重度心身障害者福祉手当の名称は、市町村によって若干の違いがあります。

事業シート

事業名		集団健診実施事業				事業開始年度		2003年度						
上位施策事業名		健康診断事業				担当局・部名		健康推進部						
根拠法令等		高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法、人間市健康福祉センター条例				担当課名		健康管理課						
事務区分		■自治事務 □法定受託事務				作成責任者		木下 義幸						
実施の背景		一般的な集団健(検)診は、実施者が実施日を指定して希望者を募り、公共施設や健(検)診車を使いまとまった人数で受診させる方法をいうが、当時の本市における各種健(検)診の受診率が他自治体に比べて低かったことから、2003年の健康福祉センターの開館と同時に年間を通じた集団健(検)診を開始した。												
目的 (何のために)		二次予防として、市民を対象とした各種健(検)診事業を実施することにより、生活習慣病の予防や、疾病の早期発見、早期治療を図ることを目的とする。												
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	16歳以上の市民				対象者数(全住民に対する割合)		128,466 人(88.4%)						
	実施方法	□直接実施												
		■業務委託 又は □指定管理 (委託先又は指定管理者: 一般社団法人人間地区医師会)												
		□補助金〔直接・間接〕(補助先: 実施主体:)												
	□貸付(貸付先:) □その他()													
事業内容 (手段、手法など)	事業内容													
	<ul style="list-style-type: none"> 健康福祉センター成人検診部門に、常勤担当者として医師1人、放射線技師1人、臨床検査技師1人、看護師1人、事務員3人、非常勤担当者として産婦人科医師1人、臨床検査技師1人、看護師2人、受付事務員1人、事務員2人を配置している。(2022年度: 62,742千円) 委託内容には、検査の実施、検査データの管理、レントゲンの二次読影、結果判定、その他医療廃棄物の処理などがある。(2022年度: 23,389千円) 実施している集団健(検)診は、特定健康診査、後期高齢者健康診査、市民健康診断、人間ドック、肺がん・結核検診、大腸がん検診、胃がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診である。このうち、市民健康診断と骨粗しょう症検診は健康福祉センターのみで実施している。(各検査費用は常勤・非常勤担当者の手数料に含まれる) 													
関連事業 (同一目的事業等)	個別健診実施事業(2022年度: 179,571千円)													
コスト			2024 年度(予算)			2023 年度(決算)			2022 年度(決算)			2021 年度(決算)		
	事業費合計		95,658 千円			88,433 千円			90,411 千円			87,055 千円		
	事業費内訳 (2022年度分)		<ul style="list-style-type: none"> 消耗品費(用紙、消毒綿、検診着等) 913千円 医薬材料費(バリウム、下剤、採血針等) 1,385千円 検定手数料(体重計) 4千円 人間地区医師会委託料 <ul style="list-style-type: none"> 常勤・非常勤担当者の手数料 52,685千円 検査データの管理費 10,057千円 血液検査等外部委託料 19,968千円 検査結果の読影料、判定料 1,373千円 その他(医療廃棄物処理料等) 2,048千円 											
	担当正職員		5人	5,530千円	5人	5,530千円	5人	5,530千円	6人	6,320千円				
	臨時職員等		1人	420千円	1人	420千円	1人	420千円	0人	0千円				
人件費合計		6人	5,950千円	6人	5,950千円	6人	5,950千円	6人	6,320千円					
総事業費		101,608 千円			94,383 千円			96,361 千円			93,375 千円			
財源内訳	国県支出金		14,325 千円			13,682 千円			13,704 千円			12,779 千円		
	国県支出金の内容		後期高齢者健康診査広域連合負担金、健康増進事業費県補助金、国民健康保険保険給付費等交付金 ※各年度の集団健(検)診と個別健(検)診の受診割合を用いて按分											
	地方債		0 千円			0 千円			0 千円			0 千円		
	その他特財		41,260 千円			38,497 千円			38,854 千円			36,599 千円		
	その他特財の内容		健康診断料(人間ドック、市民健康診断等)、特殊検診一部負担金(肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診)、健診等費用、後期高齢者保健事業等補助金											
一般財源		46,023 千円			42,204 千円			43,803 千円			43,997 千円			
財源合計		101,608 千円			94,383 千円			96,361 千円			93,375 千円			

2024 年度

事業シート

事業名		集団健診実施事業			事業開始年度	2003年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度
		集団健（検）診受診者数		人	10,985/11,957	11,957/10,612	10,612/12,456
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	集団健（検）診受診者数	8,592	8,059	8,799
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	特定健康診査受診率 60%以上（入間市国民健康保険 第2期データヘルス計画） 後期高齢者健康診査受診率 40%以上（埼玉県後期高齢者医療広域連合 第2期データヘルス計画） 各種がん検診受診率 50%以上（厚生労働省 第3期がん対策推進基本計画） ※受診率はいずれも、集団健（検）診、個別健（検）診を合わせたものとする。					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度
		特定健康診査受診率		%	39.9/60	38.9/60	37.2/60
		後期高齢者健康診査受診率		%	31.6/40	30.1/40	30.4/40
各種がん検診受診率		%	5.8～21.3/50	5.9～22.1/50	4.8～21.4/50		
自己評価		<input type="checkbox"/> 廃止・凍結	<input type="checkbox"/> 国・県・広域	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 現行通り・拡充		
評価の内容		本市における各種健（検）診の受診率は、県内平均を概ね上回っているものの目標値には達していない状況であり、受診率の更なる向上に取り組む必要がある。2022年度の受診者数は、集団健（検）診が10,985人、個別健（検）診（33医療機関）が48,565人で、健康福祉センターの受診者数は入間ハート病院に次いで2番目に多い状況である。全体の約2割が健康福祉センターを利用している状況や、新型コロナウイルス感染症の影響により風邪等の有症状者との接触がない施設で受診したいという需要を踏まえると、健康福祉センターで集団健（検）診を実施する必要性はあるものとする。 一方、集団健（検）診に掛かる費用は個別健（検）診と比べて高いことから、健（検）診事業全体を通して歳出の削減等に取り組む必要がある。					
課題	2022年度	健康福祉センターや指定医療機関の多くは、乳がん検診の際に男性の放射線技師が対応しているが、男性であることに抵抗があり受診を控えてしまうという方が一定数いる。乳がんは女性のがんによる死亡率1位であり、より受診しやすい環境を整えるため、入間地区医師会と調整し、2023年度から健康福祉センターの非常勤担当者として女性の放射線技師を登用した。					
	2023年度	2019年度から個別健（検）診のインターネット申込を開始し、受付件数は年々増加傾向にある。集団健（検）診のインターネット申込は、申込時の必要事項等が個別健（検）診よりも多く現時点では導入できていないが、利便性の向上や業務改善の観点から実用化に向けて検討を進めている。					
今後の予定		各種健（検）診の受診率向上の取組を継続する。また、健（検）診事業全体を通じた歳出削減の取組として、入間市国民健康保険や埼玉県後期高齢者医療制度の加入者を対象とした人間ドック、脳ドックの助成制度について、助成要件や助成額の見直しを進める。					
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		健康福祉センターのような施設は他自治体にはあまり例がなく、「健（検）診機能を有する」「年間を通じて集団健（検）診を実施している」公共施設については確認できていない。					
特記事項							

おとなの健康診査・がん検診等

	検診名	主な内容	対象者	費用	受診場所		受診期間	受診券
					健康福祉センター	市内指定医療機関		
健康診査	特定健康診査	身体計測、血液検査、尿検査、心電図検査等 ※医師の判断により眼底検査(無料)	入間市国民健康保険加入者で40歳～74歳の方 昭和59年3月31日以前に生まれた方	無料	●	●	6/1～12月末	5月末送付 (年度途中加入者は お問い合わせください)
	後期高齢者健康診査		後期高齢者医療制度加入者(75歳以上の方)	無料	●	●	6/1～翌年2月末	
	市民健康診断		16歳～39歳の方で職場等で健診の機会のない方 昭和58年4月2日～平成19年4月1日生まれの方	1,300円	●	—		
がん検診	肺がん・結核検診	胸部エックス線検査 ※医師の判断により喀たん検査(無料)	16歳以上の方 平成19年4月1日以前に生まれた方	無料	●	●	市内指定医療機関は6月1日～翌年2月29日 健康福祉センターは通年(4月1日～翌年3月31日) (市内指定医療機関での受診には予約が必要ながん検診等があります。受診方法など、各医療機関へ直接お問い合わせください。) ※P11をご覧ください。	がん検診等をご希望の場合はお申し込みが必要です。
	大腸がん検診	便潜血検査(2日分)	30歳以上の方 平成5年4月1日以前に生まれた方	無料	●	●		
	胃がん検診 (先着順・定員制)	胃部エックス線検査(バリウム)	16歳～29歳の方 平成5年4月2日～平成19年4月1日生まれの方	1,400円	●	●		
		胃内視鏡検査(胃カメラ) (2年度に1回受診できます)	30歳以上の方 平成5年4月1日以前に生まれた方	無料	●	●		
	乳がん検診	乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	40歳以上の女性 昭和58年4月1日以前に生まれた方	無料	●	●		
	子宮頸がん検診	視診・内診・子宮頸部細胞診 ※医師の判断により子宮体部細胞診(無料)(注)	20歳以上の女性 平成15年4月1日以前に生まれた方	無料	—	●		
	前立腺がん検診	PSA検査(血液検査)	50歳以上の男性 昭和48年4月1日以前に生まれた方	1,000円	●	●		
肝炎ウイルス検診	B型・C型肝炎ウイルス検査(血液検査)	40歳以上の方で過去に検査をしたことがない方 昭和58年4月1日以前に生まれた方	700円	●	●			
骨粗しょう症検診	骨密度測定(エックス線)	40・45・50・55・60・65・70歳の女性 下表「令和5年度の節目検診対象者」参照	無料	●	—			
成人歯科検診	虫歯の有無、歯肉・歯石の状況、動揺度検査、 口腔内清掃状況	40・50・60・70歳の方 下表「令和5年度の節目検診対象者」参照	無料	—	●	9/1～11/30	8月末送付	

(注) 子宮体部細胞診は、問診で不正出血等の症状が判明した場合等に、医師の判断により実施する検査です。

健康福祉センターでの人間ドックのご案内

検査内容 身体測定、血液検査、尿検査、心電図検査、肺機能検査、眼底・眼圧検査、腹部超音波検査、胸部・胃部エックス線検査、便潜血検査、骨密度測定等

オプション 喀たん検査、乳がん検査、子宮頸がん検査、胃がんリスク検査(ABC検査)、腫瘍マーカー検査…それぞれ別途費用がかかります。オプションについては、予約時にお問い合わせください。 ※胃カメラのオプションはありません

対象者 28歳以上の方 **検査費用** 37,000円

入間市国民健康保険加入の30歳以上の方、市民で後期高齢者医療制度加入の方には、検査費用の助成(28,000円)を行っています。

※市内指定医療機関で人間ドック、脳ドックを受検する方は直接医療機関(P20・21)へお申し込みください。

※人間ドックを受検する方は、特定健康診査、後期高齢者健康診査を受ける必要はありません。

令和5年度の節目検診対象者

年齢	検診期間	骨粗しょう症	歯科
40歳	昭和57年4月2日～58年4月1日	●	●
45歳	昭和52年4月2日～53年4月1日	●	—
50歳	昭和47年4月2日～48年4月1日	●	●
55歳	昭和42年4月2日～43年4月1日	●	—
60歳	昭和37年4月2日～38年4月1日	●	●
65歳	昭和32年4月2日～33年4月1日	●	—
70歳	昭和27年4月2日～28年4月1日	●	●

健康福祉センターで受診する場合

申込み期間 令和5年4月1日～受診を希望する1週間前まで(先着順・予約制)

年末、年度末の健診は混み合い、お申し込みが遅くなるほど予約が取りづらくなります。令和6年4～5月分は令和6年2月1日から予約を受け付けます。

受診期間 通年(4月から翌年3月末まで)
※特定健診、後期高齢者健診は指定の受診期間

申込み方法 成人健診予約専用電話、窓口

健康福祉センターの健(検)診日	
特定健康診査(※1)	月・火・水曜日 午前
後期高齢者健康診査(※1)	月・火・水曜日 午前
市民健康診断(※2)	※1 特定健診、後期高齢者健診は上記受診期間内
肺がん・結核検診	※2 市民健康診断・肺・肝炎・前立腺は4月と5月の水曜日を除く
大腸がん検診	
前立腺がん検診(※2)	
肝炎ウイルス検診(※2)	
胃がん検診(エックス線)	月・火・水・金曜日 午前
乳がん検診	月・火曜日 午後
骨粗しょう症検診	金曜日 午後
人間ドック	木曜日 午前(4月と5月は水曜日の午前も実施)

市内指定医療機関で受診する場合

申込み期間 令和5年4月1日～令和6年1月31日

受診期間 令和5年6月1日～令和6年2月29日

申込み方法 右の記入票(胃がんを除く)、電話、窓口、インターネット(胃がんを除く)

市内指定医療機関はP20・21 土日に受診できる
ところもあります

成人健診予約専用電話
☎04-2966-5520

受付時間 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

特定健康診査について

特定健康診査は40～74歳までの方を対象にすべての健康保険組合等で実施しています。ただし、内容や費用等はそれぞれ異なるため、勤務先や健康保険組合等にお問い合わせください。

生活保護法による保護を受けている方、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律による支援支給を受けている方は無料になります。【自己負担のある検診の場合】

市内指定医療機関で受診する場合の個別検診申込み記入票

この記入票をハガキに貼り付けるか封筒に入れて郵送してください(送りかたは裏面をご覧ください)

希望する検診すべてに☑を付けてください。

- 肺がん・結核検診 ※16歳以上の方
 - 乳がん検診 ※40歳以上の女性
 - 子宮頸がん検診 ※20歳以上の女性
 - 大腸がん検診 ※30歳以上の方
 - 前立腺がん検診 ※50歳以上の男性
 - 肝炎ウイルス検診 ※40歳以上の未受診の方
- ※胃がん検診は電話または窓口でお申し込みください

郵便番号	358 -
住所	入間市
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
年齢	歳 性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
電話番号	- -

※取得した個人情報は検診事業の範囲内でのみ利用します。
※申し込み期限:当該年度の1月31日(当日消印有効)



個別検診の手続きをインターネットからPCやスマートフォンを使用していつでも手続きが可能です。(申込期間内。メンテナンス時を除く)QRコードから下記URLからお申し込みください。
URL <https://logoform.jp/form/7Bob/207030>

市内指定医療機関で受診する場合の個別検診申込み記入票

この記入票をハガキに貼り付けるか封筒に入れて郵送してください(送りかたは裏面をご覧ください)

希望する検診すべてに☑を付けてください。

- 肺がん・結核検診 ※16歳以上の方
 - 乳がん検診 ※40歳以上の女性
 - 子宮頸がん検診 ※20歳以上の女性
 - 大腸がん検診 ※30歳以上の方
 - 前立腺がん検診 ※50歳以上の男性
 - 肝炎ウイルス検診 ※40歳以上の未受診の方
- ※胃がん検診は電話または窓口でお申し込みください

郵便番号	358 -
住所	入間市
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
年齢	歳 性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
電話番号	- -

※取得した個人情報は検診事業の範囲内でのみ利用します。
※申し込み期限:当該年度の1月31日(当日消印有効)

ご記入のうえ、切り取り、ハガキに貼って郵送してください。詳しくは裏面をご覧ください。

ご記入のうえ、切り取り、ハガキに貼って郵送してください。詳しくは裏面をご覧ください。

健(検)診・予防接種の市内指定医療機関

おとなの健診・がん検診・ドック
特 特定健康診査 乳 乳がん
後期 後期高齢者健診 子 子宮頸がん
肺 肺がん・結核 前 前立腺がん
大 大腸がん 肝 肝炎ウイルス
胃X 胃がん(X線) 人ド 人間ドック
胃内 胃がん(内視鏡) 脳ド 脳ドック

こどもの予防接種
□① □② □タ
B肝 ヒブ 小肺
4混 麻風
水痘 水ぼうそう
日脳 日本脳炎
二混 ジフテリア、破傷風混合
HPV 子宮頸がん

高齢者の予防接種
高イ 高齢者インフルエンザ
高肺 高齢者肺炎球菌

受診方法・時間など詳細は直接該当の医療機関にお問い合わせください。
医療機関で健診やがん検診、予防接種などを受ける際は、感染症対策など、医療機関の指示に従って受診してください。

豊岡地区
あたごクリニック
井上クリニック
入間黒須クリニック
いるまこどもみまわりクリニック
太田医院
大戸耳鼻咽喉科
おのうえキッズクリニック
かたぎりクリニック
小室医院
鈴木内科医院
寺師医院
豊岡クリニック
豊岡整形外科病院
豊岡第一病院
はせがわクリニック
林医院
原田病院
メディカルパーク入間
山岸内科クリニック
東金子地区
入間台クリニック
入間ハート病院
金子病院

健(検)診・予防接種の市内指定医療機関

※男性の風しん抗体検査・予防接種の実施医療機関については、市公式ホームページ等でお知らせしています。

宮寺・二本木地区
小林病院
さくらガーデンクリニック
下枝医院

藤沢地区
荒井医院
いるまクリニック
かなわ整形外科
小宮山医院
澤田医院
下藤沢皮膚科クリニック
松風荘病院
すずらんクリニック
高橋内科
段塚クリニック
はなわ内科・胃腸内科クリニック
本田小児科内科クリニック
武蔵藤沢セントラルクリニック
やすらぎクリニック

西武地区
小川耳鼻咽喉科気管食道科医院
小野整形外科医院
西武入間病院
西武クリニック
細谷医院
吉田産科婦人科医院

【土】…土曜日にも特定健診・後期高齢者健診を実施しています。【土・日】…土曜日・日曜日にも特定健診・後期高齢者健診を実施しています。
令和5年4月1日現在の情報です。諸事情により内容が変更する場合がありますので最新の情報は市公式ホームページでご確認ください。



《集団検診》近隣市との集団健（検）診のメニューの比較

メニューに●が付いていないものは、個別健（検）診で実施している。

種類		入間市	所沢市	飯能市	狭山市	日高市
実施期間		通年	9カ月間 (月10回～15回)	5カ月間 (月3回～5回)	4カ月間 (月5回)	9カ月間 (月2回)
健康診査	国保特定健診	●				
	後期高齢者健診	●				
	市民健診	●			●	
がん検診	肺がん	●	●	●	●	●
	大腸がん	●	●	●	●	●
	胃がん	●	●	●	●	●
	乳がん	●		●	●	●
	子宮頸がん					●
	前立腺がん	●				●
その他検診	肝炎ウイルス	●				●
	骨粗しょう症	●				●
	人間ドック	●				

《個別検診》近隣市等との検査費用（税抜）の比較

各市における検査費用の単価は、各地区の医師会との協議により決定している。検査費用全体で調整していると思われるため、単体の検査費用の比較では大きな差が生じることもある。

種類		入間市	所沢市	飯能市	狭山市	日高市	入間ハート病院	小林病院
人口		14.5万人	34万人	8万人	15万人	5.4万人	-	-
実施医療機関数		35カ所	108カ所	43カ所	38カ所	38カ所	-	-
健康診査	国保特定健診	9,910円	8,930円				-	-
	後期高齢者健診	9,910円	8,930円				-	-
	市民健診	-					(※1) 22,000円	(※2) 9,000円
がん検診	肺がん	2,100円		4,690円	2,310円	4,690円		
	大腸がん	2,400円	4,129円	2,140円	1,958円	2,140円		800円
	胃がん（バリウム）	14,000円			17,484円			13,000円
	胃がん（胃カメラ）	16,000円	17,590円	16,040円	17,259円	16,040円		
	乳がん	7,500円	8,620円	8,030円	10,725円	8,030円		7,500円
	子宮頸がん	7,205円	7,804円	7,020円	8,888円	7,020円	5,000円	7,000円
	前立腺がん	1,800円	5,720円	3,260円	3,157円	3,260円		2,800円
その他検診	肝炎ウイルス	5,621円						1,900円
	骨粗しょう症	-						
	人間ドック	37,000円					45,000円	31,418円

(※1) 当院独自の成人病検診の費用。市が実施する肺がん検診や胃がん検診（バリウム）、大腸がん検診の内容を含む。

(※2) 労働安全衛生法に基づく定期健康診断の費用。市が実施する健診と検査内容が異なる。

《集団検診・個別検診》がん検診実施に係る国の指針と入間市の内容の比較

入間市におけるがん検診は、検査方法は全て国の指針と同じであるが、受診間隔や対象年齢は受診機会の充実の観点から国の指針を超えて実施している。

種類	検査内容		受診間隔		受診対象	
	国の指針	入間市	国の指針	入間市	国の指針	入間市
肺がん	胸部エックス線検査	同左	1年に1回	同左	40歳以上	16歳以上
大腸がん	便潜血検査（2日法）	同左	1年に1回	同左	40歳以上	30歳以上
胃がん	（バリウム） 胃部エックス線検査	同左	1年に1回	同左	40歳以上	16歳以上
	（胃カメラ） 胃内視鏡検査	同左	2年に1回	同左	50歳以上	同左
乳がん	乳房エックス線検査	同左	2年に1回	1年に1回	40歳以上	同左
子宮頸がん	視診、内診、 子宮頸部細胞診	同左	2年に1回	1年に1回	20歳以上	同左
前立腺がん	指針外 PSA検査	指針外	指針外	1年に1回	指針外	50歳以上

(※) 国の指針：厚生労働省「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」

《集団検診・個別検診》当時と現在の各種健（検）診受診状況の比較

種類	2001			2002			2022			2001と2022 の比較
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	受診率
基本健診・特定健診	27,074	10,220	37.75%	27,566	8,925	32.38%	23,498	9,144	38.91%	1.17%
肺がん検診	75,120	9,126	12.15%	75,781	8,761	11.56%	62,399	13,308	21.33%	9.18%
大腸がん検診	62,074	5,815	9.37%	63,228	4,593	7.26%	53,079	9,788	18.44%	9.07%
胃がん検診	53,139	2,163	4.07%	54,191	2,437	4.50%	62,399	3,622	5.80%	1.73%
乳がん検診	38,658	2,559	6.62%	39,494	2,902	7.35%	28,877	5,309	18.38%	11.77%
子宮頸がん検診	37,025	3,364	9.09%	37,847	2,597	6.86%	33,985	6,333	18.63%	9.55%

《集団健診・個別検診》2022年度 指針外部分（上乘せ部分）の受診状況

種類	年齢	対象者数	受診者数	受診率
市民健診	16歳～39歳	13,747	286	2.1%
肺がん検診	16歳～39歳	13,747	451	3.3%
大腸がん検診	30歳～39歳	4,427	295	6.7%
胃がん検診	16歳～39歳	13,747	151	1.1%

事業シート

事業名	生涯学習をすすめる市民の会補助金		事業開始年度	1995				
上位施策事業名	生涯学習団体補助金交付事業		担当局・部名	教育部				
根拠法令等	入間市生涯学習をすすめる市民の会規約		担当課名	社会教育課				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	浅川 英雄				
実施の背景	生涯学習社会の実現は、臨時教育審議会(昭和59年～62年)で打ち出された教育改革の基本理念の一つ。入間市では、平成5年10月に、生涯学習の推進に関する調査・検討を行う市内の連絡会を設置。生涯学習に関する市民意識調査を実施し、平成7年5月に生涯学習推進組織として、行政側に「生涯学習推進会議」、市民側に「入間市生涯学習をすすめる市民の会」を設置した。							
目的 (何のために)	市民の生涯にわたる学習活動を支援するため、市側の推進組織と連携・協力を図りながら、生涯学習の推進に寄与することを目的としている。生涯学習推進計画策定の市民委員として、第1次から第5次計画まで携わっている。							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	どなたでも		対象者数 (全住民に対する割合) 145,000 人 (100 %)				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)						
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <u>直接</u> ・間接〕 (補助先: 当会 実施主体: 当会)						
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()						
事業内容 (手段、手法など)	<p style="text-align: center;">事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いるま生涯学習フェスティバル実施事業 事業費: 130,000円 (補助金割当130,000円) 事業内容: 例年12月に産文センターを会場に参加団体の成果発表と交流の場を開催。令和3年度からオンライン開催も実施している。 ・まちの先生講座 (学んだことを地域に還元する市民講師による講座) 事業費: 130,000円 (補助金割当130,000円) 事業内容: 11年間の実績 受講生延べ4,086名 開講246講座 ・広報 (学びの場発行、生涯学習けいじばん管理、メルマガ発行、市民の会HP運営等) 事業費: 250,000円 (補助金割当250,000円) 							
関連事業 (同一目的事業等)	<ul style="list-style-type: none"> ・いるま生涯学習フェスティバル実施事業 (社会教育課) 事業費: 800,000円 (事業費93,000円+一般職給与577,000円) ・いるま学びの場 (サークル・教室一覧) 印刷製本費 (社会教育課) 事業費: 60,000円 (180円×300部×1.10) 							
コスト	2024 年度 (予算)		2023 年度 (決算)		2022 年度 (決算)		2021 年度 (決算)	
	事業費合計	760 千円	380 千円	665 千円	468 千円			
	事業費内訳 (2022年度分)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務費79,708円 (Wi-Fiレンタル代44,420円、ZOOMプロアカウント使用料22,110円、いるまびとサイト年間登録料金5,588円、イルミンロッカー代2,000円、封筒3,386円、ファイル1,764円、振込手数料440円) ・企画講座部会費67,070円 (まちの先生講座チラシ他郵送費55,085円、用紙代10,383円、角2封筒1,602円) ・広報部会費122,090円 (いるま学びの場印刷代88,110円、生涯学習けいじばん修繕費30,349円、生涯学習通信印刷費3,631円) ・フェスティバルプロジェクト費107,347円 (動画収録・編集業務委託88,500円、のぼり作成費10,715円、スタッフジャンパークリーニング代8,132円) ・視察研修プロジェクト費3,620円 (大阪府茨木市オンライン視察土産代2,300円、送付費1,320円) 						
	担当正職員	2 人 2,370 千円	2 人 2,370 千円	2 人 2,370 千円	2 人 2,370 千円			
	臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円			
人件費合計	2 人 2,370 千円	2 人 2,370 千円	2 人 2,370 千円	2 人 2,370 千円				
総事業費	3,130 千円	2,750 千円	3,035 千円	2,838 千円				
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
	国県支出金の内容							
	地方債	千円	千円	千円	千円			
	その他特財	千円	千円	千円	千円			
	その他特財の内容							
一般財源	3,130 千円	2,750 千円	3,035 千円	2,838 千円				
財源合計	3,130 千円	2,750 千円	3,035 千円	2,838 千円				

2024 年度

事業シート

事業名		生涯学習をすすめる市民の会補助金			事業開始年度	1995
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度
		生涯学習フェスティバル開催	回	.1/1	.1/1	0/1
		まちの先生講座実施コマ数	コマ	64/98	67/98	48/98
		生涯学習けいじばん利用件数	件	525/573	344/573	288/573
単位当たりコスト		/				
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	コロナ禍以前のにぎわいを取り戻すことを目標に2019年度を当面の目標値として設定した。				
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度
		生涯学習フェスティバル来場者数（来場者＋視聴回数）	人	1868/3770	2631/3770	0/3770
		まちの先生講座延べ受講生数	人	356/685	493/685	324/685
		/	/	/		
自己評価	<input type="checkbox"/> 廃止・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行通り・拡充					
評価の内容	<p>無償の市民ボランティア団体として発足してから27年の間、市民と行政との橋渡し役として継続して事業を実施している。市民の会のホームページ「いるまなびとサイト」の管理運営や毎月のメールマガジンの発行など、生涯学習活動の広報にも力を入れている。自ら学んだことを市民に教えることができる「まちの先生講座」は今年度で12年目を迎える。</p> <p>いるま生涯学習フェスティバルはコロナ禍においても、市民の学びを発表する場を設け、オンライン開催及び会場開催を実施してきた。市民アンケートの結果は、生涯学習していない人の割合が平成20年53%、平成27年40%、令和2年41%と減少傾向にあり、市民の会の活動により生涯学習活動の実践が推進したと考えている。</p>					
課題	2022年度	他の団体と兼任している委員が多く、専任委員がいない。委員の高齢化、委員数の減少。				
	2023年度	他の団体と兼任している委員が多く、専任委員がいない。委員の高齢化、委員数の減少。				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・いるま生涯学習フェスティバルの開催 ・まちの先生講座の開催 ・生涯学習けいじばんの管理 ・いるまなびとサイトの管理 ・メールマガジン発行 ・いるま学びの場発行 ほか 					
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	<p>狭山市：NPO法人さやま生涯学習をすすめる市民の会 平成17年8月に任意団体として設立、平成26年4月に特定非営利活動法人として認定された。 狭山市教育委員会社会教育課と協働で各種事業を展開している。 生涯学習情報コーナーの運営業務として、市からの委託料210万円</p> <p>所沢市：生涯学習をすすめる所沢市民会議 平成8年に市民団体として発足した。 所沢市の生涯学習関係団体から推薦された代表者および個人の委員をもって組織する。 市からの補助金90万円</p> <p>飯能市：類似組織なし</p>					
特記事項	発足以来市民委員100名弱が関与し、27年間継続されてきた協働事業である。今年度の会の重点目標は委員を2名増やすことである。					

市民の会：経緯・組織・委員

市民と行政の協働

私たち、入間市生涯学習をすすめる市民の会は現在、いるまびとプラン（第5次入間市生涯学習推進計画）を基に活動を進めています。市民の学習支援を目指して、「市民と行政がそれぞれの強みを持ち寄って両輪として活動する」という協働の意図のもとに1995年に設立した市民のボランティア活動組織です。

<市民の会設立までの経過>

平成5年10月 生涯学習の推進に関する調査・検討を行う庁内の連絡会を設置

平成6年5月 生涯学習に関する市民意識調査を実施

平成7年1月 生涯学習に関する市民意識調査を実施

平成7年5月 生涯学習推進組織として、行政側に「生涯学習推進会議」、市民側に「入間市生涯学習をすすめる市民の会」を設置

現在の組織、規約

年度活動報告および次年度活動計画などを年1回審議する総会、および毎月開催する定例会を軸に、部会およびPT（プロジェクトチーム）が具体的な活動を推進します。現在の部会およびPTは以下の通り。なお、事務局は、入間市教育委員会社会教育課内にあります。

広報部会

企画・講座部会

生涯学習フェスティバルPT

視察研修PT

委員、協力委員について

市民の会の委員は、市民公募で任期2年で25名以内。役員は、会長1名、副会長若干名、部会長（PT長）若干名、会計2名、監査2名。また会員とは別に、各自の得意分野で活動を支援する協力委員の制度も設けています。

委員（7名）青地覧子、幸森康夫、指田博行、佐藤享*、関谷敦子、山増智子**、渡部直也
協力委員（10名）今井誠喜、岡野こずえ、岡野亘、栗原正明、桑原良博、小暮欽作、須崎隆司、長崎彩子、人見友章、望月雅枝（**会長、*副会長、2023年4月現在）

ホームページ <https://irumanabito.net/shimin/>

入間市生涯学習をすすめる市民の会規約

(名称)

第1条 この会は、入間市生涯学習をすすめる市民の会（以下「本会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、市民の生涯にわたる学習活動を支援するため、市民と行政のパイプ役として、本市における生涯学習の推進に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 生涯学習の情報収集と提供に関すること。
- (2) 生涯学習の調査研究に関すること。
- (3) 生涯学習の普及奨励に関すること。
- (4) 生涯学習推進施策の提言に関すること。
- (5) その他必要な事業

(組織)

第4条 本会は、公募に応じた市民の中から、市長の依頼を受けた市民の委員で組織する。

- 2 委員の人数は、25人以内とし、任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 委員に欠員が生じた場合には、後任の委員をもって充てることができる。ただし、前任者の残任期間とする。

(委員の資格の喪失)

第5条 委員が次の各号のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会の申出があったとき
- (2) 本人が死亡したとき
- (3) 除名されたとき

(退会)

第6条 委員は、会長が別に定める退会届を会長に提出して、任意に退会することが

できる。

(除名)

第7条 本会は、委員が次のいずれかに該当するときは、定例会において出席委員の3分の2以上の同意により委員を除名することができる。

- (1) 本会の運営に極めて重大な支障を及ぼすと認められたとき
- (2) 本会又は委員の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき

(役員)

第8条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 部会長 若干名（プロジェクトリーダーを含む）
- (4) 会計 2名
- (5) 会計監査 2名

2 役員は、委員の互選により定める。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 部会長は、部会を統括する。
- (4) 会計は、本会の会計を担当する。
- (5) 会計監査は、本会の経理を監査する。

(役員の仕事)

第10条 役員の仕事は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合、後任の役員をもって充てる。ただし、仕事は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、退会又は任満後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(会議)

第 11 条 会議は、総会、定例会、役員会及び幹事会とする。

2 本会の議事は、この規約に別に定めるものの他は、出席委員の過半数の同意をもって決定する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 本会は、会長が必要と認めるときは、委員以外の関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(総会)

第 12 条 総会は、会長が招集し、会長がその議長となり、次の事項を審議、決定する。

- (1) 規約の改廃に関する事。
- (2) 事業計画及び事業報告に関する事。
- (3) 予算及び決算に関する事。
- (4) 人事に関する事
- (5) 公募委員の審議に関する事
- (6) その他会長が付議した事項に関する事。

2 総会は、定例会をもってこれに代えることができる。

(定例会)

第 13 条 定例会は、会長、副会長及び委員で組織する。

2 定例会は、会長が招集し、会議に出席した正委員のうちから会長が議長及び書記を選任し、幹事会より提出された案件を審議、決定する。

(役員会及び幹事会)

第 14 条 幹事会は、会長、副会長及び部会長で組織する。

2 役員会及び幹事会は、必要により会長が招集し、会長がその議長となる。

3 幹事会は、定例会に提出する案件を協議、処理する。

(専門部会)

第 15 条 本会は、必要に応じ各専門部会を置くことができる。

2 前項の専門部会に関する規程は、幹事会の承認を得て、会長が別に定める。

(協力委員)

第 16 条 会長は、必要に応じて協力委員を置くことができる。

2 協力委員は、本会を円滑にすすめるために協力する。

(経費)

第 17 条 本会の経費は、補助金、寄附金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第 18 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日をもって終わる。

(事務局)

第 19 条 本会の事務局は、入間市教育委員会教育部社会教育課内に置く。

(雑則)

第 20 条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この規約は、平成 7 年 5 月 19 日から施行する。

附則

この規約は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この規約は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この規約は、平成 17 年 4 月 19 日から施行する。

附則

この規約は、平成 23 年 4 月 26 日から施行する。

附則

この規約は、平成 27 年 3 月 17 日から施行する。

附則

この規約は、平成 29 年 4 月 25 日から施行する。

2024 年度

事業シート

事業名	移動図書館やまばと号運営事業	事業開始年度	1976年
上位施策事業名		担当局・部名	教育部
根拠法令等	図書館法、入間市立図書館設置及び管理条例、入間市立図書館設置及び管理条例施行規則	担当課名	図書館
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	平岡 康子

実施の背景
 公共図書館は、地域のすべての人が利用できるものである。しかし、交通の便が悪いなどの理由で、公共図書館を利用しにくい地域もあり、そのような地域に本を届けるのが移動図書館である。入間市では、1976年2月から、図書館のない地区、地域への代替サービス移動図書館車「やまばと号」による巡回を開始。その後、1983年3月、1994年1月、2005年12月に図書館車の更新を行い、現在の車両は4台目である。

目的
 (何のために)
 移動図書館を運行することにより、本館・分館を利用しにくい地域の市民のために定期的に巡回し、図書館サービスを提供する。

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	入間市内に居住又は通学・通勤している人。所沢市、飯能市、狭山市、日高市、青梅市の居住者も利用可能	対象者数 (全住民に対する割合) 145,360 人 (100 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)	
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)	
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()	
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 巡回場所(ステーション)は、25カ所。公共施設6カ所、一般ステーション(団地、スーパーなどの商業施設)11カ所、小学校8校。原則週に1回、定期的に巡回。 小説・娯楽・趣味・実用書、絵本・紙芝居、CD、DVDなど約3,800冊の資料を乗せている。 1 資料の貸出、返却、利用者カードの登録、予約、予約受け取り 2 移動図書館者での図書館利用教室 3 移動図書館のイベントへの参加		
関連事業 (同一目的事業等)	宮寺配本所(宮寺・二本木地区センター内の図書室。本館や分館を利用しにくい地域のために設置。貸出・返却は、センター窓口にて行っている。)		

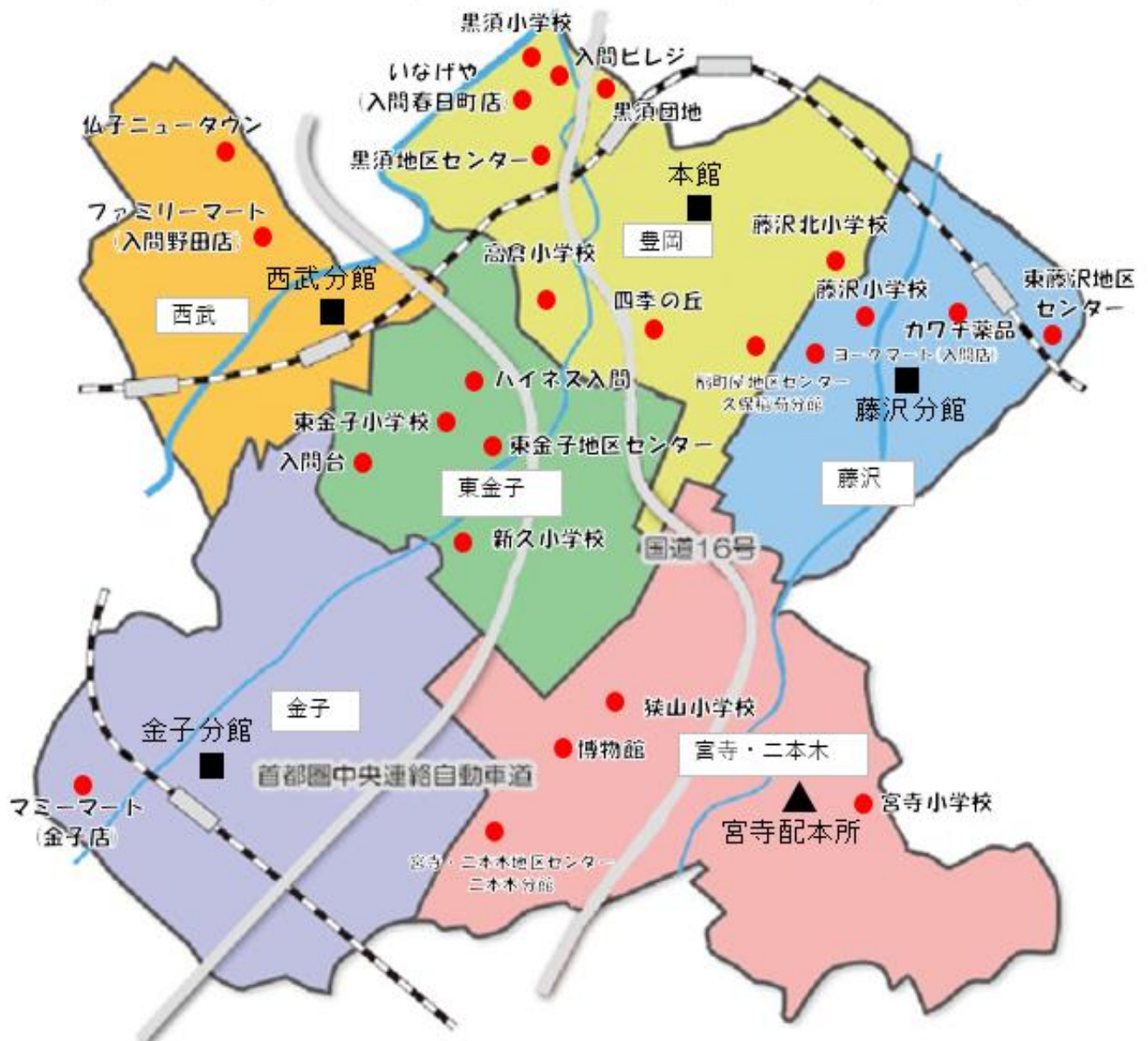
コスト	2024 年度 (予算)		2023 年度 (決算)		2022 年度 (決算)		2021 年度 (決算)	
	事業費合計	572 千円	411 千円	572 千円	411 千円			
	事業費内訳 (2022年度分)	<ul style="list-style-type: none"> ・車両借上料 年間 640,200円 ・点検 6か月点検 2022/5/16 11,110円 12か月点検 2022/11/24 58,641円 ・任意保険料 (2022年4月1日～2023年3月31日) 対人・対物保険 8,700円 (あいおいニッセイ同和損害保険㈱) 車 両 保 険 8,900円 (全国市有物件災害共済会) ・入場者傷害保険料 (2022年4月1日～2023年3月31日) 37,150円 ・ガソリン代 223,028円 年間稼働日数 225日 総走行距離 6,512km(1日あたり平均28.9km) 燃料総使用量 131,021ℓ その他 (他年度) *車検 (2021年11月1日) 258,042円 (整備料・工賃100,760円、部品代56,232円、諸費用101,050円) 立川自動車 *タイヤ交換 (2021年度 17,820円、2023年度 20,020円)						
	人件費	1人 4,500千円	1人 4,500千円	1人 4,500千円	1人 4,500千円			
	臨時職員等	1人 1,400千円	1人 1,400千円	1人 1,400千円	1人 1,400千円			
	人件費合計	5,900千円	5,900千円	5,900千円	5,900千円			
	総事業費	6,472千円	6,311千円	6,472千円	6,311千円			
	財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円			
	その他特財	千円	千円	千円	千円			
一般財源	千円	千円	千円	千円				
財源合計	千円	千円	千円	千円				

2024 年度

事業シート

事業名		移動図書館やまばと号運営事業			事業開始年度		1976年	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度	
		巡回場所数（ステーション数）		か所	25/25	25/25	24/24	
		巡回回数		回	919/954	870/943	523/910	
			点	/	/	/		
単位当たりコスト		総事業費	/	巡回回数	円	6,867	7,439	12,067
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	第3次入間市立図書館基本計画で「学びの拠点となる図書館サービスの提供と充実」として移動図書館での貸出・返却等のサービスの充実についても定めていることから、設定した。 ・蔵書冊数は3,800冊程度だが、本館や分館から資料を取り寄せることができるので、本館や分館から遠く足を運ばない高齢者の利用も多い。（70代 貸出者数1,248人 貸出冊数3,285冊） ・小学校への巡回も行っている。30分～1時間程度の巡回時間に大勢の児童が利用しており、読書活動の推進に役立っている。（小学生 貸出者数3,582人 貸出冊数8,691冊）						
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度	
		登録者数		人	198/150	132/80	42/80	
		貸出者数		人	7,168/6,000	5,884/5,700	3,252/5,700	
貸出点数		点	19,548/17,000	16,787/15,800	9,248/15,800			
自己評価		<input type="checkbox"/> 廃止・凍結	<input type="checkbox"/> 国・県・広域	<input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現行通り・拡充			
評価の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館を運行することにより、図書館から遠い地区の市民に公平、平等な図書館サービスを提供することができた。 ・貸出、返却を行うだけでなく、予約として本館や分館から資料を取り寄せることができる他、入間市に所蔵していない本は埼玉県内から取り寄せて提供するサービスも本館や分館と同様に行っており、移動図書館利用者の読書活動推進を図っている。 ・また、児童向けサービスとして、スタンプラリー等を行うことで、登録者や貸出者数の増加を図っている。 ・小学校への巡回サービスも行っているが、中学校からの巡回依頼や夏休み期間中の巡回依頼等もあり、サービス拡充の必要性を感じている。 						
課題	2022年度	現在の移動図書館車は、トラック車体に装備を施したもので、車両総重量は5,715kgであり、2017年3月12日の運転免許制度改正により準中型運転免許（重量限定なし）・中型運転免許（8t限定）以上が必要となり、2007年6月2日以降に普通運転免許を取得した者では運転できず、運行人員の確保が難しくなってきた。						
	2023年度	車両の更新						
今後の予定		<ul style="list-style-type: none"> ・地域にとって不可欠な図書館であるため、維持・継続するとともに、付加価値（青空おはなし会等）について研究する。 ・移動図書館は、交通弱者の利用も多いこともあり、慎重に検討したいと考えている。 						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市：排ガス規制の際に移動図書館車を廃止し、予約本コンビニ受け取りサービスなどの代替サービスに切り替えた ・飯能市：移動図書館あり。24か所。山間部まで行くので、広範囲。利用が少ない箇所もあり。 ・狭山市：移動図書館あり。32か所。入間市と同様に、小学校の休み時間の巡回もあり。 ・日高市：移動図書館あり。4か所。軽トラックの改造車で、運行は委託。積載冊数が少ない。 ・昭島市：病院内にも巡回している。（ただし現在はコロナのため運休中） ・民間では、講談社が「全国訪問おはなし隊」として、1都道府県を1台で1か月間巡回している。 						
特記事項								

《入間市の図書館及び移動図書館「やまばと号」ステーションMAP》



凡例

- 豊岡 : 地区
- : 本館・分館
- : 移動図書館ステーション
- ▲ : 宮寺配本所

小学校を含め、市内25カ所を巡回



移動図書館“やまばと号” 令和5年度 日程表

A9:40~10:10 B10:45~11:15 C13:45~14:15 D14:20~14:50 E14:45~15:45

※荒天等の時は、運休となる場合があります。

地区	ステーション名	時間	曜日		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
豊岡	四季の丘	A	1・3	土	1・15	6・20	3・17	1・15	5・19	2・16	7・21	4・18	2・16	6・20	3・17	2・16
	黒須団地	A	毎週	火	4・11・18・25	9・16・23・30	6・13・20・27	4・11・18・25	8・15・22・29	5・12・19・26	10・17・24	7・14・21・28	5・12・19・26	9・16・23・30	6・13・20・27	12・19・26
	黒須地区センター	A	毎週	金	7・14・21・28	12・19・26	2・9・16・23	7・14・21・28	4・18・25	8・15・22・29	6・13・20・27	10・17・24	1・8・15・22	5・12・19・26	2・9・16	1・15・22・29
	いなげや (入間春日町店)	B	毎週	金	7・14・21・28	12・19・26	2・9・16・23	7・14・21・28	4・18・25	8・15・22・29	6・13・20・27	10・17・24	1・8・15・22	5・12・19・26	2・9・16	1・15・22・29
	扇町屋地区センター 久保稲荷分館	D	毎週	金	7・14・21・28	12・19・26	2・9・16・23	7・14・21・28	4・18・25	8・15・22・29	6・13・20・27	10・17・24	1・8・15・22	5・12・19・26	2・9・16	1・15・22・29
	入間ビレジ	B	毎週	土	1・8・15・22	6・13・20・27	3・10・17・24	1・8・15・22	5・12・19・26	2・9・16・30	7・14・21	4・11・18・25	2・9・16・23	6・13・20・27	3・10・17・24	2・9・16・23・30
	高倉小学校 13:10~13:25	/	毎週	水	19・26	10・17・24	7・14・21・28	5・12	30	6・13・20・27	4・11・18・25	1・8・15・22・29	6・13	17・24	7・14・21・28	13
	黒須小学校 13:35~13:55	/	毎週	火	18・25	9・16・23・30	6・13・27	4・11	-	5・12・19・26	10・17・24	21・28	5・12・19	16・23・30	6・13・20・27	12・19
東金子	東金子地区センター	D	毎週	木	6・13・20・27	11・18・25	1・8・15・22・29	6・13・20・27	3・10・17・24・31	7・14・21・28	5・12・19・26	2・9・16	7・14・21・28	11・18・25	1・8・15・22	14・21・28
	ハインス入間	C	毎週	水	5・12・19・26	10・17・24	7・14・21・28	5・12・19・26	2・9・16・23・30	6・13・20・27	4・11・18・25	1・8・15・22・29	6・13・20・27	10・17・24	7・14・21・28	13・27
	入間台	C	毎週	土	1・8・15・22	6・13・20・27	3・10・17・24	1・8・15・22・29	5・12・19・26	2・9・16・30	7・14・21	4・11・18・25	2・9・16・23	6・13・20・27	3・10・17・24	2・9・16・23・30
	新久小学校 15:10~16:00	/	毎週	火	18	9・23・30	6・13・20・27	4・11	-	5・12・19・26	10・17	7・21・28	5・12	16・23・30	6・13・20・27	12
	東金子小学校 15:10~16:10	/	毎週	木	13・20・27	18・25	1・8・15・22	6・13	31	7・14・21・28	5・12・19・26	2・9・16	7・14	11・18・25	1・8・15・22	14
宮寺 二本木	宮寺小学校 14:40~15:50	/	毎週	水	12・19・26	10・17・24	7・14・21・28	5・12	30	6・13・20・27	4・11・18・25	1・8・15・22・29	13	10・17・24	7・14・21・28	13
	博物館	A	1・3・5	水	5・19	17	7・21	5・19	2・16・30	6・20	4・18	1・15・29	6・20	17	7・21	-
	宮寺・二本木地区セン ター 二本木分館	A	2・4	水	12・26	10・24	14・28	12・26	9・23	13・27	11・25	8・22	13・27	10・24	14・28	13・27
	狭山小学校 13:40~13:55	/	毎週	木	20	11・18・25	1・8・15・22・29	6	31	7・14・21・28	5・12・19・26	2・9・16	7・14	18・25	8・15・22	14
藤沢	東藤沢地区センター	A	毎週	木	6・13・20・27	11・18・25	1・8・15・22・29	6・13・20・27	3・10・17・24・31	7・14・21・28	5・12・19・26	2・9・16	7・14・21・28	11・18・25	1・8・15・22	14・21・28
	ヨークマート 入間店	B	毎週	木	6・13・20・27	11・18・25	1・8・15・22・29	6・13・20・27	3・10・17・24・31	7・14・21・28	5・12・19・26	2・9・16	7・14・21・28	11・18・25	1・8・15・22	14・21・28
	藤沢小学校 15:10~16:00	/	毎週	金	21・28	12・19	2・9・16	7	-	8・15・22・29	6・13・27	17・24	1・8・15	12・19・26	2・9・16	1
	藤沢北小学校 13:35~13:55	/	毎週	金	14・21・28	12・19・26	2・9・16・23	7・14	-	8・15・22・29	6・13・27	10・17・24	1・8・15	12・19・26	2・9・16	1・15
	カワチ薬品	E	毎週	土	1・8・15・22	6・13・20・27	3・10・17・24	1・8・15・22・29	5・12・19・26	2・9・16・30	7・14・21	4・11・18・25	2・9・16・23	6・13・20・27	3・10・17・24	2・9・16・23・30
金子	マミーマート	B	毎週	水	5・12・19・26	10・17・24	7・14・21・28	5・12・19・26	2・9・16・23・30	6・13・20・27	4・11・18・25	1・8・15・22・29	6・13・20・27	10・17・24	7・14・21・28	13・27
西武	仏子ニュータウン	B	毎週	火	4・11・18・25	9・16・23・30	6・13・20・27	4・11・18・25	8・22・29	5・12・19・26	10・17・24	7・14・21・28	5・12・19・26	9・16・23・30	6・13・20・27	12・19・26
	ファミリーマート (入間野田店)	D	毎週	火	4・11・18・25	9・16・23・30	6・13・20・27	4・11・18・25	8・15・22・29	5・12・19・26	10・17・24	7・14・21・28	5・12・19・26	9・16・23・30	6・13・20・27	12・19・26

《移動図書館車 やまばと号》

■一般のステーションへの巡回



本棚にある本の貸出しのほか、
予約本の受け取りも多い



親子での利用も多く見られる

■小学校への巡回



順番に車内に入る児童たち



児童書を真剣に選ぶ



人気があるのは、おばけや昆虫の本など



■特別訪問 野田中学校



2023.03 野田中学校から依頼があり、訪問。
 たくさんの生徒が来館し、中学生の読書活動推進の場となった。



■「森の図書館」 青少年活動センター夏フェスティバル



2023.08
 夏フェスティバル
 おささびひろば
 木陰で読書を楽しんでもらった。



移動図書館車やまばと号 利用統計

平成30年度(2018年度)

移動図書館			
月	回数	貸出者数	貸出点数
4	78	373	1,087
5	76	541	1,432
6	98	733	1,931
7	72	445	1,276
8	67	253	851
9	88	591	1,657
10	87	540	1,620
11	86	560	1,593
12	85	481	1,402
1	79	465	1,486
2	88	540	1,664
3	62	313	1,078
合計	966	5,835	17,077
新規登録者数		42	

令和元年度(2019年度)

移動図書館			
月	回数	貸出者数	貸出点数
4	71	405	1,273
5	66	495	1,413
6	69	656	1,912
7	67	450	1,332
8	67	318	1,139
9	83	666	1,816
10	83	688	1,850
11	85	614	1,632
12	71	417	1,228
1	75	480	1,408
2	86	607	1,793
3	13	85	315
合計	836	5,881	17,111
新規登録者数		64	

令和2年度(2020年度)

移動図書館			
月	回数	貸出者数	貸出点数
4	0	0	0
5	0	0	0
6	22	96	338
7	71	371	1,181
8	65	346	1,090
9	84	593	1,634
10	104	692	1,789
11	78	540	1,397
12	80	530	1,556
1	0	0	0
2	0	0	0
3	19	84	263
合計	523	3,252	9,248
新規登録者数		42	

令和3年度(2021年度)

移動図書館			
月	回数	貸出者数	貸出点数
4	73	406	1,192
5	76	591	1,526
6	87	769	1,970
7	81	619	1,795
8	61	333	1,070
9	59	330	1,081
10	95	752	2,018
11	75	504	1,317
12	82	521	1,586
1	78	481	1,372
2	53	310	1,007
3	50	268	853
合計	870	5,884	16,787
新規登録者数		132	

令和4年度(2022年度)

移動図書館			
月	回数	貸出者数	貸出点数
4	82	497	1,490
5	72	560	1,516
6	96	1,013	2,660
7	82	613	1,672
8	65	376	1,156
9	84	677	1,783
10	90	762	2,034
11	81	745	1,936
12	45	365	1,158
1	76	516	1,404
2	79	639	1,699
3	67	405	1,040
合計	919	7,168	19,548
新規登録者数		198	